令和２年４月２０日

本宮高校　全校生徒の皆さんへ

臨時休業にあたっての校長メッセージ

福島県立本宮高等学校長　阿部洋己

本宮高校、全校生徒の皆さん、おはようございます。

先週の木曜日、安倍晋三内閣総理大臣が、緊急事態措置を実施すべき区域を、７都府県から全国４７のすべての都道府県に拡大することを発表しました。

この目的としては、それぞれの地域での流行を抑制すること、特に、ゴールデンウィークにおける人の大きな移動を最小化して、全国的な感染の拡大を抑えることです。

政府のこのような措置を受けて、金曜日の１７日に、本県の内堀知事から一斉の臨時休業を行うよう福島県教育員会に要請がありました。福島県教育委員会から、本県においても陽性患者の発生が連日確認されるなど、感染拡大を抑える上で非常に重大な局面にあるとして、４月２１日（火）～５月６日（水）の期間、県立高校等の臨時休業を決定したとの通知がありました。

これを受けて、皆さんの保護者宛に、３９メールで、本宮高校としての臨時休業についての対応についてお知らせをしました。

臨時休業中の留意点として、望ましい生活習慣の維持についてのこと、健康観察のこと、学習に関すること、運動不足解消に関することなど、学校のHPやメールでお知らせしたことの詳細を、しっかりと理解した上で、自宅等においても、本校の生徒としての自覚を持ち、行動して欲しいと思います。

休業期間中に、不安やストレスを感じることがあれば、何なりと学校へ相談ください。不安が募ると、家族同士など、身近な人たちとの摩擦や衝突が生じることもあるかと思いますが、このような時だからこそ、みんなで声を掛け合い、協力して、心を痛めることないようにしましょう。

状況が刻々と変わり、新たな連絡等も、今後学校から発信することがいろいろとあると思われます。９年前の東日本大震災や、昨年の台風１９号などと違って、情報通信手段は、しっかりと確保されていますので、学校のHPなどは、特に意識して、確認を行うようにしてください。

高体連の県大会等の中止等が、続々と決定されていて、先行きが見えにくい状況にあります。ただ、心と身体が健康でさえあれば、この先、様々なことを学び経験できる機会は必ずあります。皆さん全員が、この新型コロナウイルスに関する騒動が収まったら、明るく、前向きに学校に戻ってこられるよう、この休業期間を乗り切ってもらうことを強く願っています。